

NEWS RELEASE

事業承継ファンド「サクセッション2号投資事業有限責任組合」への新規出資について

AJ キャピタル株式会社

<https://ajcap.co.jp/>

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：谷川 啓、本店：東京都千代田区、以下「あおぞら銀行」と）、日本アジア投資株式会社（代表取締役社長：下村 哲朗、本社：東京都千代田区、以下「JAIC」）が共同設立したファンド運営会社AJ キャピタル株式会社（以下「当社」）は、事業承継ファンド「サクセッション2号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）を2022年8月16日に設立しております。

このたび、新たに株式会社阿波銀行（頭取：福永 丈久、本店：徳島県徳島市）、による当ファンドへの出資が決定いたしましたので、お知らせします。

なお、今回のクローズにより当ファンドの総額は42億円に達しました。引き続き、複数の地域金融機関の皆さまにご出資を検討いただいております。ファイナルクローズでは、総額50億円程度の規模になるものと見込んでおります。投資活動につきましても順調に進んでおり、当ファンドの投資1号案件は2023年5月25日に投資実行、今後も年2~3件ペースでの投資を行っていく予定でございます。

当ファンドは、2017年6月に設立した「サクセッション1号投資事業有限責任組合」（以下「1号ファンド」。ファンド総額30億円）の後継ファンドとなります。当ファンドへの市場からの潜在的なニーズ/期待は高く、1号ファンド同様に当ファンドは、従来の投資ファンドではあまり投資対象とされていなかったスモールキャップゾーン（企業価値で10億円未満）を主な投資ターゲットとしています。また、当ファンドは、全国の地域金融機関の皆さまと連携し、お取引先である中小企業の事業承継問題に対し、あおぞら銀行とJAICの長年に亘る投資やM&Aに関する豊富な知見・実績を結集して、資本政策の立案、投資、および投資後の様々な経営支援の実施により、円滑な事業承継の実現を目標としております。

あおぞら銀行では、2023年5月17日に公表した新中期経営計画「A0ZORA2025」（2023~2025年度）にて、あおぞら銀行グループが強みを発揮する「3つの場面（育てる、変わる、再生する）」において、お客さまへの中長期的な関与を行ない、お客さまとともに成長することを掲げており、当ファンドも事業承継・財産承継にかかるコンサルティング活動の分野において重要な役割を担っております。

また、日本アジア投資では、「日本とアジアをつなぐ投資会社として、少子高齢化が進む社会に、安心・安全で質と生産性の高い未来を創る」という経営理念の元で、中小企業の事業承継を支援するファンドの運営により、包摂的かつ持続可能な産業化を促進しています。

当社は今後も、地域経済の核となる中小企業の事業承継を、当ファンドを活用して支援し、円滑な事業承継を推進することで、地域創生や地域活性化に貢献し我が国経済の発展に寄与する所存です。

<当ファンド概要>

ファンド名称	サクセッション2号投資事業有限責任組合
所在地	東京都千代田区九段北三丁目2番4号
ファンド設立日	2022年8月16日
無限責任組合員	AJ キャピタル
ファンド総額	4,201百万円(現時点)
有限責任組合員 (五十音順)	あおぞら銀行、阿波銀行、愛媛銀行、鹿児島銀行、岐阜商工信用組合、京葉銀行、荘内銀行、東和銀行、鳥取銀行、日本アジア投資、北都銀行、ゆうちょ銀行
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

<当社について>

名称	AJ キャピタル株式会社
所在地	東京都千代田区九段北三丁目2番4号
代表取締役社長	小林 正行
設立年月日	2018年4月24日
資本金	20百万円(含む資本準備金)
株主構成	あおぞら銀行 50%、日本アジア投資 50%

以 上